



夏こそ実践！ 家庭で『エコ活動』

地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)の世帯当たりの年間排出量は約2720*_gです。夏を迎え、家庭ではエアコンの使用頻度が増えるなど、毎日のエネルギー消費量が多くなります。今一度、私たち一人

ひとりが身の回りで無駄なエネルギーを消費していないかを確認するなど、CO₂の排出量削減に向けたエコ活動に取り組んでみませんか。

問 環境学習都市推進課 (0798・35・3803)

西宮市は…

市民・事業者などの参画と協働により、持続可能な都市を実現するため、環境に対する理解を深め学び合う取組を進めています。平成15年(2003年)に「環境学習都市宣言」を行い、今年2月には市長が施政方針の中で「2050年ゼロカーボンシティ」を表明しました。

知っ得！おすすめエコ活動

普段の生活の中で、今日から始められて、実は省エネ効果の大きいエコ活動を紹介します。(参考)経済産業省「家庭の省エネ徹底ガイド」

入浴は家族間で時間を空けずに入る

年間CO₂排出量が **87.0*_g** ↓
年間光熱費が **6880円** ↓

追い焚き(200%を4.5℃上昇させる)の回数を1日1回減らした場合

冷蔵庫は適切な温度設定にする

年間CO₂排出量が **36.2*_g** ↓
年間光熱費が **1670円** ↓

周囲温度22℃で、設定温度を「強」から「中」にした場合

シャワーは不必要に流しっぱなしにしない

年間CO₂排出量が **29.0*_g** ↓
年間光熱費が **3300円** ↓

45℃のお湯で、流す時間を1分短縮した場合

エアコンのフィルターはこまめに掃除する

年間CO₂排出量が **18.8*_g** ↓
年間光熱費が **860円** ↓

フィルターが目詰まりしたエアコン(2.2キロワット)とフィルターを掃除した場合の比較

子供だってEWCでエコアクション！

エコカード特別版 EWCエコアクション手帳

EWC…西宮市独自の環境学習システムで、子供たちが自主的・継続的・総合的に環境学習に関わることのできる仕組み

毎年小学生に配布のEWCエコカード。今年はコロナ禍でも取り組めるよう、学校や家庭内での活用に特化した特別版を配布。冊子を上手に活用し、子供も一緒にエコ活動に取り組みましょう！



冊子はEWC HPからもダウンロード可

小学1年生～6年生の6種類を作成。手帳内の二次元コードを読み取れば、エコクイズやいきもの動画、詳しい解説が見れる仕組みも！



EWC HP

暮らしにエコを取り入れよう！

にしのみや 省エネチャレンジ

地球にやさしい行動で、クオカードやオリジナルマイボトルが当たるかも！詳しくは市のホームページでご確認ください。



私たち一人ひとりが環境問題に関心を持って、省エネ効果のある「エコ活動」に少しずつ取り組んでいくことが大切です。普段の生活で、節電・節水を心がける、マイボトルを持ち歩くなど、自分にできることから始めてみましょう。

環境学習都市推進課 鮎川主事(左)、伊藤主事(右)

7/18(日) 兵庫県知事選挙

投票日に予定がある人は期日前投票へ (HP) 40988928

7月18日(日)は兵庫県知事選挙の投票日です。当日投票に行けない人は、期日前投票ができます＝右表参照。※期日前投票の期間にご注意を ※7月1日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・時間変更の可能性がありますので、最新情報は市のホームページで確認の上、ご来場ください

期日前投票会場		
期間	7月17日(土)まで 午前8時半(★は10時)～午後8時	7月10日(土)～17日(土) 午前8時半～午後8時
場所	・選挙管理委員会事務局(市役所東館7階) ・塩瀬支所 ・大学交流センター(★) ・ららぽーと甲子園(★)	・瓦木公民館 ・鳴尾支所 ・甲東支所 ・山口支所

問 選挙管理委員会 (0798・35・3732)

多文化共生を考える

「人権文化の花咲くまち 西宮を目指して」 多様な視点から学ぼう！

運命の大きな波に よって運ばれた地は、兵庫県姫路市内にある小さな町でした。生まれ故郷とは言葉も文化も何もかも違う、日本での暮らしは戸惑いや苦労がたかさんありました。地域の方々も、慣れないアフリカ出身者との交流に迷いや不安もあったでしょう。



今の父である、日本人の男性と結婚したことで、日本へ移住することになりました。自分が結婚を決意する相手が、日本人だった母、カメルーン人だった父、2人の心にも大きな波が流れたことでしょう。

幼いカメルーン人の少年だった私の人生に訪れた最初の大きな波は、母の結婚でした。

色々な波にのり、時に向きを変え、流れついたのが今の場所と暮らし、そして人々。カメルーン人の少年

今の自分をとりまわっている環境を全て計算で準備したという人はいないでしょう。色々な波にのり、時に向きを変え、流れついたのが今の場所と暮らし、そして人々。カメルーン人の少年

私たちは違う場所で生まれ、色々な波に運ばれ、そして同じ浜辺に漂着したので、同じ街で暮らしています。誰にとっても最良の贈り物である「笑顔でのあいさつ」からはじめませんか。

私たちが違う場所で生まれ、色々な波に運ばれ、そして同じ浜辺に漂着したので、同じ街で暮らしています。誰にとっても最良の贈り物である「笑顔でのあいさつ」からはじめませんか。

笑顔で迎えられる以上の贈り物はなかなかありません。私たちは、それぞれ違う場所で生まれ、違う景色を見て育ってきました。互いの違いに、困惑したり、感心したり、衝突したり、感動したり、多様なルーツをもつ我々が共に暮らすと、じつに色々な出来事と出会います。

地域の方々から色々な形で助けていただきましたが、その中で一番助かったご好意とものがまさに「好意」そのものでした。笑顔でのあいさつなどです。



漫画家・タレント 星野ルネさん

1984年カメルーン生まれ。4歳の時に母の結婚に伴い来日し、姫路市で育つ。タレント活動の傍ら、ツイッター上で発表していた自分の日常のエッセイ漫画が話題となり2018年8月に『まんが アフリカ少年が日本で育った結果』(毎日新聞出版)として出版。毎日小学生新聞にて「アフリカ少年! 毎日が冒険」連載中。今年2月に西宮で開催した国際理解講座では講師として登壇